

羽衣国際大学「プロジェクト演習」企画公募要項

2026 年度前期／夏期集中

自治体・企業・団体の皆様へ

羽衣国際大学では 2018 年度より、プロジェクト・ベースド・ラーニング（PBL）を軸とする正課科目「プロジェクト演習」を実施しております。

本科目は、地域社会の団体や企業の方々にプロジェクトをご提案いただき、本学の学生たちが皆様方と協働でプロジェクトを遂行する科目です。学生たちが、地域社会をフィールドに、多様な方々とコミュニケーションをとりながら「現場で学ぶ」姿勢を育み、自ら考え、実践することで、問題発見能力・課題解決能力を培い、また将来、地域社会に貢献することを目的とした正課授業科目となります。

つきましては、2026 年度前期及び夏期集中期につきまして、地域の団体の皆様から本科目で取り組むプロジェクト（企画）をご提案いただき、本学の学びにご参加賜りたく、プロジェクト公募のご案内を申し上げます。

プロジェクト（企画）の公募

「プロジェクト演習」の趣旨にご賛同いただき、プロジェクトの遂行を通じた学生の学びを、本学専任教員と共同でご担当・ご指導いただける団体・企業の方から、プロジェクト（企画）を以下の要領で募集いたします。新商品の開発、あるいは地域における各種活動の企画や広報、国際化、各種取組の拡充・改善など、本学の学生と共に考え、共に取り組んでいただけるプロジェクト（企画）のご応募を心よりお待ち申し上げます。ご応募いただいたプロジェクトは、正課科目として設定できるかどうか検討させていただき、厳正な審査の上、選定をさせていただきます。

<参考>

文部科学省の PBL の定義（参考）：実社会で役に立つプロジェクト課題を学生にグループ単位で与え、その課題を達成するためのアイデアの創出、計画立案、実現等を学生自身に遂行させることにより、学生の学習意欲、学生の活用能力、計画立案・遂行能力、ディベート能力、プレゼンテーション能力、組織運営能力等の向上を図るための学習・教育の方法。

1. 「プロジェクト演習」の趣旨

「プロジェクト演習」は、特定のプロジェクトを達成するために、学生たちが地域社会をフィールドとし、学生自ら考え、行動する学びを展開する（Project Based Learning）科目です（2単位認定）。

学内外から提案されたプロジェクト達成に向けて、学生が主体的に、また自律・自立的に学ぶ実践型学修スタイルにより、現場で学ぶ姿勢、コミュニケーション能力、協調性、主体性、問題発見・課題解決能力を修得することで、関連する専門分野の知識・技能を高めることを目的とします。本学の全学的な学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）のうち、特に「学内外の能動的学修経験を通して、課題を発見する力、課題解決のために必要な情報を収集し分析する力、課題解決に向けた行動力を身につけている」を実現するための科目の一つとなります。

本科目では、設定されたプロジェクトテーマによる活動を軸に、知識の注入（インプット）よりも、学生の着想・思考・意見の発信（アウトプット）および学修成果（アウトカム）を重視し、主役は学生、教員はガイド役となります。

2. 募集対象

科目設置趣旨に賛同していただき、本学専任教員と協力して「プロジェクト演習」を担当していただける団体（地方自治体等を含む）、企業を対象といたします。選定された場合は「科目協力者」となっていただき、「科目代表者」となる本学専任教員と共に学生の指導を担っていただきます。近畿圏外からの応募については担当事務局に予めご相談ください。

3. 実施条件

1) プロジェクト内容

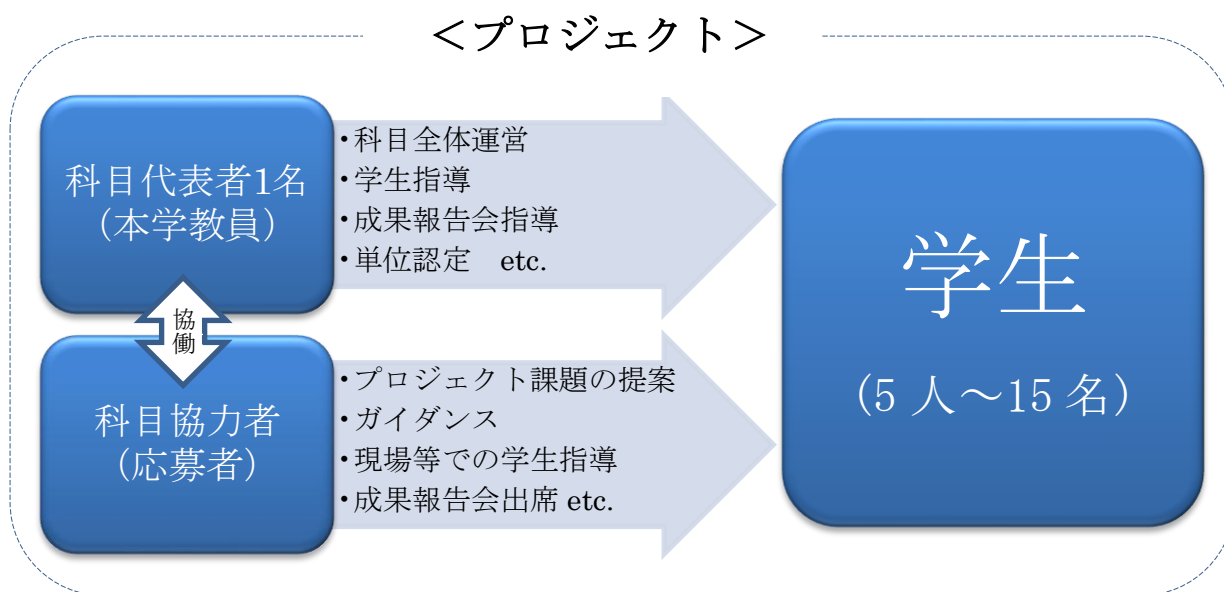
次の条件を満たしたプロジェクトであれば、自由に設定いただけます。

- ・ 科目設置趣旨に合致したプロジェクト遂行型の内容であること
- ・ 1 学期（セメスター）または 1 期間（90 分×15 回相当）で遂行できる内容・レベル・スケジュールであること
- ・ 科目運営費予算として計上される、1 学期（または 1 期間）1 科目あたり 10 万円（税込・上限）を上回る内容の経費は、応募者側が負担することが可能であること
- ・ 学生数 5 名から 15 名までで遂行できる内容であること

2) 科目の条件

科目運営体制

本学の専任教員 1 名が「科目代表者」として科目の運営を代表し、科目の単位認定を行います。ただし科目代表者は、「科目協力者」（選定されたプロジェクトの応募者）および学生たちのアドバイザーとして授業に携わります。応募時点で科目代表者となる本学の専任教員が見つからない場合は、プロジェクト内容に応じて大学が専任教員の選定を行います。



科目運営費

1 学期（または 1 期間）1 科目あたり 10 万円（税込・上限）を予算計上しています。科目運営費の予算管理は原則、科目代表者が行います。必要な予算の支出は科目代表者と相談・調整の上、行っていただきます。

<使用範囲>

①ゲスト講師謝礼（ゲスト講師の謝礼・交通費、併せて 1 人上限 30,000 円。ゲスト講師は応募者および応募者所属団体・企業の方以外であること。）

※応募者および応募者所属団体・企業の方以外に、ゲスト講師として授業にご参加いただく場合に、お支払いする謝礼です。応募者および応募者所属団体・企業の方は対象外です。

※ゲスト講師の人数や回数に制限はありません。予算内でご調整ください。

②文具・図書雑費 ③材料費 ④印刷費

⑤授業実施に伴うプロジェクトメンバーの交通費（通勤・通学圏外）

※飲食費での使用は認められません。

※科目運営費を上回るプロジェクト内容の場合は、応募者側に負担をお願いいたします。

教室・機材・設備

教室は、学生の登録人数や使用する機材等を考慮し、本学が割当を行います。授業に必要な機材や物品などはプロジェクト応募フォームにご記入ください。本学が所有している機材や設備の使用は、数量や使用期間の制限がある場合もありますので、応募者の所属団体・企業所有の機材や材料、設備などの使用を授業にご提供いただければ幸いです。

授業期間・曜日・時限

講義・ディスカッション・グループワークなど、教室内で行われる活動について授業曜日と時限を選択していただく必要があります。ただし、学外でのフィールドワークは選択された曜日・時限外での実施が可能です。教室内活動は1回90分、学外フィールドワークは180分で1回分とみなされます。学外フィールドワークは、可能な限り他の授業受講の妨げとならない土日などに設定をお願いいたします。

2026年度前期に開講するプロジェクトの場合は、希望する曜日・時限を第2希望まで企画申込書にご記入ください。

2026年度夏期集中で開講する場合は実施期間(プロジェクトの開始日と終了日)のみで、曜日・時限の選択は必要ありません。

2026年度前期および2026年度夏期集中の授業期間・曜日・時限の枠は下記のとおりです。プロジェクトの実施日程は下記期間内で設定をしてください。

- ・ 期間：2026年度前期……………2026年4月8日(水)～2026年8月4日(火) 予定
2026年度夏期集中…2026年8月5日(水)～2026年9月4日(金) 予定
- ・ 曜日：月曜日から金曜日までは、1限から5限の中から選んでください。
- ・ 時限：

時限	授業時間
1 限	09:00 ～ 10:30
2 限	10:40 ～ 12:10
3 限	13:00 ～ 14:30
4 限	14:40 ～ 16:10
5 限	16:20 ～ 17:50

科目対象学生

本科目の対象学生は1年次生～4年次生です。学生の選考は、設定された期間と条件に基

づき、1プロジェクトにつき15名上限を目安として、大学が行います。なお、開講には原則5名以上の学生の登録が必要です。

3) プロジェクトの選定について

ご応募いただいた書類は以下の選定基準に照らし合わせて審査・選定を行います。選定にあたり、応募者に面接をさせていただく場合があります。

選定基準

①授業運営計画と教育目的との整合性

プロジェクトの実施過程＝授業運営計画が、「プロジェクト演習」の教育目的（目的とする学生の能力向上）と整合性があり、その目的の実現を見込める計画となっているか

②プロジェクト内容の適合性

本学の専任教員が科目代表者となって協力することが困難である、あるいは適切な科目代表者がいないと想定される内容となっていないか

③プロジェクト実施（授業運営）過程の適正さ

- ①プロジェクト実施過程が、応募段階で具体的に計画されているか
- ②公正で厳密な成績評価を下すことができる見込みがあるか
- ③実施期間がプロジェクトの遂行に適切であるか
- ④プロジェクトの実施にあたって予見可能な危険等はないか

④その他

計画と実施過程に羽衣国際大学の全学共通専門科目（2単位）として不適切な内容を含んでいないか

4) 科目運営について

- ・選定された各プロジェクトの趣旨を学生が十分に理解した上で選択し、履修登録が行えるよう、プロジェクトごとにガイダンスを開催いたしますので、科目協力者（プロジェクト応募者）はガイダンスでプロジェクトの説明を行っていただけますよう、お願いいたします。ガイダンスの日程については、プロジェクト採択後、別途お知らせいたします。
- ・学期末に、学生たちが成果報告を行う、全プロジェクト共同成果報告会を開催いたします。成果報告会には、科目代表者（本学専任教員）だけでなく、科目協力者（プロジェクト応募者）にもご参加いただきます。報告会の実施日程・詳細については後日お知らせいたします。
- ・新型コロナウイルス感染症の状況により、プロジェクトの実施内容、開講形態の変更（対面での授業から遠隔授業への変更等）や開講取消し等の措置を取ることがあります。

5) 成績評価について

学生に対する成績評価は、科目代表者（本学専任教員）が、各学生の活動、報告書、成果物、成果報告会の発表等に対する評価基準表に照らし併せて行います。その際、科目協力者（プロジェクト応募者）と相談し、科目協力者の意見を反映いたします。

6) 応募回数について

同一テーマでプロジェクトの継続・発展を望まれる場合は複数回応募することが可能ですが、選定は3回を上限といたします。なお、応募内容の審査は、同一テーマであっても公募ごとに行います。

7) 情報公開について

「プロジェクト演習」科目について、大学の広報として活用させていただく場合があります。各プロジェクトの内容や活動を記録した写真等を公開することもありますので、予めご了承くださいませよう、お願いいたします。

8) 科目（プロジェクト）の成果物等の所有権、知的財産権について

本学と科目協力者所属団体・企業との間で協議の上、決定させていただきます。

4. 応募手続きの概要

1) 公募期間および審査結果の通知について

「2026年度前期」実施プロジェクト

公 募 期 間：2025年10月14日（火）～2025年12月12日（金）必着

審査結果通知：2026年1月30日（金）までにメールまたは郵送にて通知

「2026年度夏期集中」実施プロジェクト

公 募 期 間：2025年10月14日（火）～2026年2月6日（金）必着

審査結果通知：2026年3月31日（火）までにメールまたは郵送にて通知

2) 提出書類

①「プロジェクト演習」企画申込書【一般用】（様式2）

下記4) お問合せ先までご連絡いただけましたら、PDF版とEXCEL版をメールに添付してお送りいたします。

②テーマの理解の補足となる資料や写真等（任意）

※補足資料・写真等は必須ではありません。

※送っていただいた資料・写真等は原則として返却はできかねますので、予めご了承ください。

③企業・団体 プロフィール（様式2-2）

貴団体の概要や申請プロジェクトに関連した活動実績をご記入ください。

既に本学での活動実績がある場合ご提出は不要です。

※個人でお申し込みいただく場合は別途、履歴書のご提出をお願いいたします。

3) 応募書類の提出方法

必要書類を同封または添付の上、下記の宛先まで、締切日必着で、簡易書留または e-mail にてご送付いただくか、ご持参ください。書類受領後、担当事務局より電話または e-mail にて、受領のご連絡を差し上げます。事務局より連絡がない場合は、書類が届いていない可能性がありますので、提出締切日までに事務局にお問い合わせください。

※簡易書留で郵送される場合は、封筒の表面に「プロジェクト演習企画応募書類在中」と明記してください。

※簡易書留で郵送される場合は、証憑書類（領収書）を必ず保管しておいてください。紛失等で証憑書類のない場合は受付できません。

※FAX での受付はできません。

※提出後の差し替えは認められません。

4) 応募書類提出先・お問合せ先

羽衣国際大学 共通教育開発センター「プロジェクト演習」係（担当：清水・吉田・肖・西田）
〒592-8344 大阪府堺市西区浜寺南町 1-89-1

TEL 072-242-8300

e-mail pbl@hagoromo.ac.jp

5. 個別説明会の開催について

「プロジェクト演習」のプロジェクト（企画）公募にあたり、個別説明会を開催いたします。説明会への参加をご希望される方は、「申込内容」①～④を記載の上、下記「申込先」に記載のメールアドレス宛にご連絡ください。追って、本学担当者より日程調整のご連絡をさせていただきます。

※説明会の参加は、応募にあたっての必須条件ではございません。

- ・ 申込内容 ①団体（企業）名・住所
- ②説明会参加者のご氏名（ふりがな）・所属部署名
- ③個別説明会ご希望の日程（希望日程・時間帯を複数ご記載ください）
- ④参加者の連絡先：電話番号とメールアドレスは必須
- ・ 申 込 先 羽衣国際大学 共通教育開発センター「プロジェクト演習」係
e-mail pbl@hagoromo.ac.jp
- ・ お問合せ 羽衣国際大学 共通教育開発センター「プロジェクト演習」係
TEL 072-242-8300 （担当：清水・吉田・肖・西田）

以上